

夢のつばさプロジェクトニュース

2013年冬～2014年春の活動

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的に、2011年3月の震災直後から続けられている活動です。お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体が実施母体となっています。

① 2013年冬のクリスマスキャンプ

【実施期間】2013年12月21日～24日

【開催地】(株)ブリヂストン保養所奥多摩園(青梅市)、青梅市民会館(青梅市)

【参加内訳】小学生18名、中・高生7名、大学生スタッフ40名、大人スタッフ15名(看護師を含む)

【主な内容】

12月21日	開会式、アイスブレイクゲーム
12月22日	朝の勉強会、夢のつばさ祭り(お店屋さん、縁日)
12月23日	料理実習(シチューとサラダ)、巨人生ゲーム、クリスマス音楽会(フルート・バイオリン・ピアノ)、(サンタさんがプレゼントを持って登場)
12月24日	閉会式、写真スライドショー、保養所の方々へ御礼

今回は遠出をせず、保養所とその近辺で時間的にもゆとりを持って過ごしました。自分たちでシチューとサラダを作る体験は好評で、それぞれレシピを大事に持って帰りました。また、恒例のクリスマスパーティには、桐朋学園から2名の素敵なフルート奏者を迎えて、大人スタッフ、学生スタッフがピアノを演奏するなど、楽しい時間を持つことができました。パーティの



◆クリスマス音楽会

最後には、トナカイに担がれたサンタクロースが登場し、支援者の方々から贈られたプレゼントを配りました。

普段から、子どもたちが少々人見知りをする

様子が気になっていましたので、今回のキャンプは、「さまざまな機会に出会う人たちに気持ちよく挨拶をする習慣を身につけてほしい」と、学生スタッフとも相談をして臨みました。大学生は、率先して保養所の方々や大人スタッフと挨拶を交わし、子どもたちも一緒になって気持ちよく挨拶をするようになりました。スタッフ一同、子どもたちが自らを育て、心豊かな人に成長していけるよう、今後も寄り添って行きたいと決意を新たにしています。

② 2014年春の交流会

【実施日】2014年3月30日

【開催地】榴ヶ岡市民センターほか(仙台市)

【実施内容】学生執行部から、子どもたちの町を訪問して、現地で交流したいという希望があったので、夢のつばさプロジェクトの事業として、仙台へ日帰り訪問することを決めました。これまで夢のつばさキャンプに参加した子どもたちを対象とし、スタッフ有志も同行して1日を過ごしました。



◆2014年春の交流会

夢のつばさキャンプには、繰り返し参加する子どもも増えているので、上級生が下級生の世話をする自覚を徐々に育てたいと考えています。そこで夏キャンプの企画のひとつに、中高生に子どもスタッフとして参加してもらうことを考え、今回の交流会で準備作業を開始しました。今後も話し合いを続けて行く予定です。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

ご寄付のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通 1284200

【名称】特定非営利活動法人お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子(この口座は、夢のつばさ専用口座となっております)ご協力いただける範囲でご寄付賜りますれば幸いです。ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせくださいませ。領収書をお送りいたします(恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください)。連絡先:事務担当 滝澤公子 TEL&FAX:03-5978-5362 Email:tsubasa@npo-ochanomizu.org